

平成30年度事業計画（案）

（自 平成30年4月1日～至 平成31年3月31日）

《スローガン》

YEGism

～Now, it's my turn!～

《基本方針》

人口減少、少子高齢化に伴う市場の縮小や競争の激化、深刻化慢性化する人手不足…依然厳しい経営環境が続く現在の日本において、とりわけ我々地方の中小零細企業は規制緩和や業界再編など頻繁に起きる大きな環境変化に加え、AI・IoTに代表されるテクノロジーやグローバル化の急激な進展に、限られた資源の中で対応していかなければなりません。

一方、足元の小浜においても舞鶴若狭自動車道の全線開通以後の経済状況への適応、そして北陸新幹線開業という数百年に一度の大きなチャンスに向けたまちづくりへの真剣な取り組みなど、多くの命題を抱えております。

そのような中、我々がYEGである意義は何でしょうか？その一つの答えは、繋がりそして絆により、それらあらゆる課題に皆で立ち向かっていけることにあります。

そんな交流と連携の重みを心から感じた近畿ブロック大会若狭小浜大会から5年余、創立30周年事業から2年余が経過しました。この数年の間、YEG魂を研ぎ澄まし、団結することでNextAgeの扉を開いた我々は、さらなる高みを目指すべく、原点に回帰しながら一意奮闘、明日(みらい)の自分と愛する小浜のために活動を続けて参りました。

先輩方の築いてこられた確固たる歴史と、地域団体や連合会への出向を含む各分野での経験と実績、千財能力を秘めた過去最多の会員数。小浜YEGがその歩みを通して徐々に存在価値を高めていく過程で、最近では多方面から交流のお誘いや協力の依頼を頂くようになってきております。それら大切な繋がり、大切な事業への参加を通じてYEGがよりvaluableな団体になる一方で、「ORIGIN of YEG」商工会議所青年部の原点とも言える活動の比重が少し軽くなっているようにも感じられます。

その活動とは、青年経済人としての研鑽による資質向上であります。

創業者、後継者、経営幹部。若き起業家集団であるYEGにとって最重視すべきは、間違いなく各企業の活性化にあると考えます。個人の成長により会員企業が元気になることが地域の経済的発展、ひいては豊かで住みよい郷土の創生に繋がります。

そこで本年度はより皆の企業活動に生きる事業を展開して参ります。質量両面での研修事業の強化。ATなどのサービスを活用したYEG内でのビジネス機会の創出。会議所活動の一翼を担う存在としての政策提言活動のキックオフ。商工会議所、県連とも歩みを共にしたキャリア教育事業の発展的継続。また、それらを実現する為、新しい形での組織の構築を試みる1年にもなります。

同時に、次年度開催の大野YEG主管による近畿ブロック大会への協力。次々年度開催予定の福井県連主管による全国大会に向けた当事者としての本格的な準備。と、連合会における責務を果たせるよう、県や近畿ブロック、日本YEGともベクトルを合わせ共走して参ります。

私がYEGに入会して12年。その内10年は図らずも総務委員や専務理事という会務運営の仕事を内外で頂いて参りました。青年部や会長の為、後方でのサポート役を続ける中で忘れつつあった【 YEGism 】。

それは、綱領・指針に謳われる「先導者たる気概」と「行動」。自分が小浜を、世界を変えるという革新への熱い「Passion（情熱）」。

平成30年度、会員全員がそれぞれの新しい役割や立場で自ら燃え、光を放ち、我こそが主役であるという心意気で、自企業・地域・YEGの発展を創造していきましょう！

さあ、いよいよ俺の番だ！

《運営方針》

- 1、SKK、KKS、KSKの3委員会で運営する
- 2、I/T特務室を設置し、イベントや各種大会への参加・協力を行う
- 3、30周年宣言に基づいた事業を運営する
- 4、自己研鑽できる事業を運営する
- 5、会員間の親睦、家族との交流事業を運営する
- 6、他単会、近隣市町や各種団体との交流を行う
- 7、人材育成のための会員開発、積極的な会員拡大を図る

《委員会方針》

SKK(総務・広報・会員開発)委員会 委員長 濱瀬 広直

SKK 委員会では青年部の団結をさらに深められるような総会や例会を企画し、開催いたします。委員会では一人ひとりが研鑽に努め、個人、会社、YEG すべての成長に繋がる運営を行ってまいります。

- ① 年 2 回の総会を適正に運営します。
- ② 青年部全員が団結し、広報活動に取り組む企画、運営を行います。
- ③ YEG への熱い情熱を一人ひとりが再確認し、繋がり・絆をさらに深めて、会員拡大に取り組めます。

KKS(研修・経営・政策提言)委員会 委員長 下林 祐紀

KKS 委員会では、委員会活動こそ一人一人の輝ける場であるべく、達成感や楽しみを得られるよう運営します。また、お互いを尊重しながら自由闊達な意見を出し合い、最高のチームワークを発揮して YEG の資質向上・発展に臨みます。

- ① 平成 32 年度に福井で行われる全国大会を見据えて、YEG をより理解し、愛を深める例会を企画・運営します。
- ② 青年経済人として研鑽できる例会を企画・運営します。
- ③ 行政との関わりを考え、明日の小浜の未来を考える例会を企画・運営します。

KSK(交流・渉外・キャリア教育)委員会 委員長 新野 峻啓

KSK 委員会では、若手中心で構成されていることもあり、フレッシュさ溢れる例会、事業を企画・運営していきます。

委員会や例会への参加率を上げることを重視し、楽しく、皆が参加しやすい、しかしやるときにはやる、メリハリのついた委員会運営を行なっていきます。

- ① 各会員と会員家族、また他単会との交流を目的とした例会、事業を企画・運営します。
- ② 全国大会、宮崎大会への参加例会を企画・運営します。
- ③ キャリア教育事業を企画・運営します。

I/T(イベント・大会)特務室 室長 大城戸 将司

I/T 特務室では地域のイベントや各種大会などで小浜 YEG が valuable な存在でいられるよう目指します。

また、イベントなどの企画や参加する意義・楽しさなどを小浜 YEG 会員と共有し、参加率の上昇を目指します。

- ① ただのボランティアスタッフとしてだけでなく、『青年経済人』としての自覚をもって地域のイベントに協力します。
- ② 地域に根ざしたイベントの一翼を YEG が担うことで、valuable な存在であり続ける事を目指します。
- ③ 単会内で培ってきた繋がりを更に発展するべく、様々な会に多くの会員が参加する事を推進します。

平成30年度事業スケジュール（予定）

月	事業名	担当	役員会	関連事業
4	定時総会・4月例会	S K K	4月4日	4/12 県連役員会(福井)
5	5月例会	K K S	5月10日	5/12 近プロ会長会議(大野) 5/19 県連代議員総会(大野)
	旨いもんすごろく [5/20]	I / T		
6	6月例会	K S K	6月6日	6/19 県連役員会(鯖江)
	全国大会現地視察(鯖江) [6/29]	出向者		
7	7月例会	K K S	7月4日	7/ 3 全国会長会議(東京) 7/15 武生YEG周年事業出店 7/20~21 日本YEG役員会(宮崎)
	恋するマーメイド [7/7]	I / T		
	ふるさと仕事塾	K S K		
	YEG交流会(勝山・鯖江・小浜) [7/14]	K S K		
8	8月例会	K K S	8月8日	8/23 県連役員会(敦賀)
9	近畿ブロック大会(加西) [9/28・29]	I / T	9月5日	9/ 9 Yosakoi祭
10	10月例会	K K S	10月3日	
	OBAMA食のまつり [10/20・21]	I / T		
11	11月例会	K K S	11月7日	11/8~10 全国会長研修会(帯広) 11/11 YEGの日 11/15 県連役員会(小浜)
12	12月例会 クリスマス	K S K	12月5日	
1	臨時総会・新春例会	S K K	1月9日	1/17 県連役員会(勝山)
2	2月例会	K K S	2月6日	2/16 臨時代議員総会(敦賀)
	県連会員大会(敦賀) [2/16]	I / T		
3	3月例会 全国大会(宮崎) [3/8~10]	K S K	3月6日	3/12 県連役員会(武生)
	卒業式	I / T		

- HP管理、YEG魂発刊、広報企画、エンジェルタッチ運用
YEG内ビジネス企画、新入会員研修、会員拡大・増強 S K K委員会
- 奈良YEGとの交流会、県連キャリア教育事業 K S K委員会
- Yosakoi祭、嶺南青年経済団体交流会、イルミネーション I / T特務室
- 三役会は役員会の数日前に開催
- 役員会は事前に資料を配信し、ペーパーレスにて開催

